

産学連携展示

in 京都ビジネス交流フェア 2024

■主催 公益財団法人京都産業21

日時 2024年2/15(木)16(金) 10:00~17:00

場所 京都府総合見本市会館 (パルスプラザ 第1展示場)

概要 次世代のビジネスを見据え、大学・高専が進める「ヘルスケア」「DX」「環境」関連の他、「デザイン」に関する、「産学連携事例」や「研究シーズ」展示を行います。19大学・高専が、産学連携に興味を持つ企業とのマッチングや連携創出、共同研究推進のため出展しますので、是非、お立ち寄りください。

★来場前の事前相談受付中！！ ↓相談内容やニーズを以下に入力ください↓

URL・・・<https://www.ki21.jp/entries/view/index.php?id=225063>

▶出展大学／高専 一覧◀



①“ヘルスケア”カテゴリー

大学・高専名

展示内容

1 関西大学

連絡先：研究支援・社会連携グループ
(坂田 優志)
TEL：06-6368-1245
MAIL：sangakukan-mm@mail.kandai.jp

【D-アミノ酸で味、肌機能、記憶力アップ】

◎展示内容詳細・・・食品中の様々なD-アミノ酸とL-アミノ酸を同時に高感度で定量する技術を開発し、D-アミノ酸に着目した新規機能性食品や高付加価値食品の開発が可能となり、D-アミノ酸産生仕込みのアミノみそ他が誕生した。



2 京都橘大学

連絡先：学術振興課 (高瀬 一郎)
TEL：075-574-4186
MAIL：aca-ext@tachibana-u.ac.jp

【京都橘大学の産学連携実績】

9学部 15学科を擁する本学では、人文・社会・教育・工学・医療系といった幅広い研究領域を有し、企業等との産学連携をもって、地域・社会への成果の還元を目指しております。この度は、共同研究により創出された製品等をご紹介します。



共同研究:京都橘大学×アシックス商事(株)

3 京都府立大学

連絡先：産学公連携リエゾンオフィス
(近藤 靖)
TEL：075-703-5356
MAIL：y-kondo@kpu.ac.jp

【食と健康】

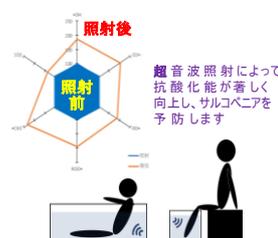
「食」と「栄養」そして「健康」を取り巻く要因を総合的にとらえ、動物の正常能、生体恒常性(ホメオスタシス)、病気の成り立ちを理解し、健康寿命延伸や病気の予防・治療に有効な食事方法や機能性食品等の開発研究を紹介します。

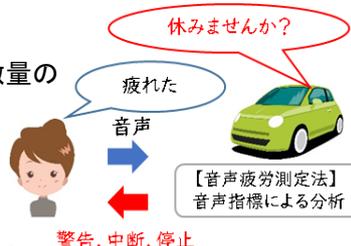
4 同志社大学

連絡先：研究開発推進課 リエゾンオフィス(中島)
TEL：0774-65-6223
MAIL：jt-liais@mail.doshisha.ac.jp

【超音波照射により生体の抗酸化能を高めてすべての病気を予防する】

生体へ微弱な超音波を照射すると抗酸化能が著しく上昇し、サルコペニアの予防効果を有することを動物実験で明らかにしました。ヒトに対しても血中の抗酸化能上昇を確認しており、老化関連疾患の予防を目的とした最適な照射の条件と装置を開発中です。



大学・高専名	展示内容
<p>5 同志社女子大学</p> <p>連絡先：学術情報部学術研究支援課（見市） TEL：0774-65-8679 MAIL：research@dwc.doshisha.ac.jp</p>	<p>【カロリー密度に注目したお弁当の開発】</p> <p>デンシエット(Densiet)は密度に注目した食事という意味の造語である。低カロリーでも満腹・満足のお弁当研究を社会実装化した。今後、少量でのカロリーの高い高齢者用の高カロリー密度食を開発する。</p>
<p>6 奈良工業高等専門学校</p> <p>連絡先：総務課 企画・研究協力係 TEL：0743-55-6173 MAIL：sangaku@jim.nara-k.ac.jp</p>	<p>【一音声から発話者の状態を知る】</p> <p>◎研究概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 音声から疲労時と非疲労時の音声の特徴量の変化を定量化 2. 音声から発話者のストレス状態を定量化 3. 音声に含まれる非言語情報の定量化 <p>◎最終目標 発話音声のみから客観的に発話者の状態を知る</p> 
<p>7 明治国際医療大学</p> <p>連絡先：産学官連携推進センター（伊藤） TEL：0771-72-1183 MAIL：sec_scie@meiji-u.ac.jp</p>	<p>【東洋医学の健康観「未病」で身体を見える化】</p> <p>東洋医学の健康観である「未病」は病気と健康の中間を示す概念で、予防や well-being の指標としても注目されています。本学では学内ベンチャーにて未病を見える化する体調管理アプリを作成し、体調に応じたライフスタイルを提案しています。</p> 
<p>8 立命館大学</p> <p>連絡先：研究部BKCリサーチオフィス（則武） TEL：077-561-2802 MAIL：event@st.ritsume.ac.jp</p>	<p>【アクティブライフ共創コンソーシアム紹介&研究活動報「RADIANT」配布】</p> <p>Well-being の最先端研究拠点を目指した、健康・スポーツ・ウェルフェア分野の研究コンソーシアムをご紹介します。また研究活動を読み物にした冊子の配布や、自然科学系分野における研究シーズをご紹介します。</p> 

② "DX" カテゴリー

大学・高専名	展示内容
<p>1 大阪大学産業科学研究所</p> <p>連絡先：戦略室（加藤） TEL：06-6879-8448 MAIL：air-office@sanken.osaka-u.ac.jp</p>	<p>【KOBELCO 未来協働研究所による「ものづくり革新ソリューション」】</p> <p>大阪大学産業科学研究所と(株)神戸製鋼所が2022年10月に設立した「KOBELCO 未来協働研究所」より、日本のものづくり産業を革新するDXソリューション創出の取り組みを紹介します。</p> 
<p>2 京都先端科学大学</p> <p>連絡先：オープンイノベーションセンター・亀岡（柴田） TEL：0771-29-2405 MAIL：liaison@kuas.ac.jp</p>	<p>【オープンイノベーションセンター・亀岡(OICK)】</p> <p>OICK OICKでは「グリーンイノベーション」を一つの柱として活動しています。スマートアグリ分野では野菜の機能強化や育成法の可視化、森林管理分野では森林資源情報の可視化や地域・地理の解析手法の研修を提供しています。</p>
<p>3 龍谷大学</p> <p>連絡先：龍谷エクステンションセンター（星尾） TEL：077-543-7743 MAIL：rec@ad.ryukoku.ac.jp</p>	<p>【深層ニューラルネットワークを用いた外観検査精度向上】</p> <p>鍛造部品製造企業での外観検査自動化導入で課題となった「新規不良モードの見逃し(流出)」対策について、企業と弊学が共同で行った深層ニューラルネットワークを使った機械学習に関する取り組みを紹介します。</p> 

③ “環境”カテゴリー

大学・高専名	展示内容
<p>1 大阪電気通信大学</p> <p>連絡先：研究支援室（大西） TEL：072-820-3827 MAIL：ken-shien@osakac.ac.jp</p>	<p>【パワーエレクトロニクス／パルスパワー電源技術の活用】 パルス電界処理による食品加工や、パワーエレクトロニクスを用いたオゾン発生用の高電圧電源などの研究を進めています。</p> <p>【室内熱気流環境解析コード[SCIENCE]を用いたシミュレーション技術の紹介】 PCM(潜熱蓄熱材)建材を用いた場合を含めた様々な省エネルギー性のシミュレーション事例を紹介します。</p>
<p>2 京都大学</p> <p>連絡先：産官学連携本部（井上） TEL：075-753-9722 MAIL：liaison@saci.kyoto-u.ac.jp</p>	<p>【環境に関する研究テーマ等のご紹介】 エネルギー、素材等に関する研究テーマ、ならびに本学 桂図書館による研究シーズ発信の取り組み「桂の庭」についてご紹介します。</p>
<p>3 公立大学法人 滋賀県立大学</p> <p>連絡先：産学連携センター（西口/小松） TEL：0749-28-8610 MAIL：sangaku@office.usp.ac.jp</p>	<p>【竹によるものづくりを通じた社会活動および竹構造建築物の開発】 ～ものづくり 人づくり 未来づくり～</p> <p>サステナブルな建材として注目される竹の素材を追求した研究開発や竹によるものづくりを通じた社会活動の紹介。素材や部材実験の様子や竹の特徴を活かした建築作品、そして竹を活用したこれまでの地域づくりの活動の様子が展示される。</p>  
<p>4 奈良女子大学</p> <p>連絡先：社会連携センター（山崎・森田） TEL：0742-20-3734 MAIL：liaison@cc.nara-wu.ac.jp</p>	<p>【バイオと光によるものづくり】 「バイオものづくり」は化石資源依存脱却への鍵の1つです。本展示では、バイオ水素生産に向けた、半導体の光エネルギー変換と微生物反応から成るバイオ複合型光触媒系といった、バイオと光によるものづくりの例を紹介します。</p>
<p>5 奈良先端科学技術大学院大学</p> <p>連絡先：研究推進機構（金 雄） TEL：0743-72-5625 MAIL：kimu.un@ip.naist.jp</p>	<p>【高収量ナタネ新品種の作出技術の開発】 自家不和合性アブラナ科植物に特定の低分子RNAをコードする配列を含む核酸を導入することで、自家和合性へ変換する技術を確立しました。また、アブラナ科のモデル植物シロイヌナズナにおいて胚乳発達制御遺伝子を改変し、種子の大型化・小型化技術も開発しました。</p>



医療・ライフサイエンス分野の相談は、
異業種連携チーム 『京MED』まで！！



←(HP はコチラ)

④ “デザイン”カテゴリー

大学・高専名	展示内容
1 京都工芸繊維大学 連絡先：研究推進・産学連携課（渡邊） TEL：075-724-7035 MAIL：sangaku@jim.kit.ac.jp	【災害時・平常時に活用できる木造ユニットシステム】 間伐材やクマ剥ぎ被害を受けた木材が活用できる小径木材を用いて、被災時、平常時に利用可能な組立式ベンチ、テーブル、茶室等を製作しています。 また本学の産学公推進連携センターの取り組みについても併せて紹介いたします。 
2 京都産業大学 連絡先：研究機構 研究推進センター（伊勢戸 勇樹） TEL：075-705-3255 MAIL：ksu-kenkyusuishin@star.kyoto-su.ac.jp	【人にも環境にも優しいものづくり(落葉漆器、紙胎漆器、色漆見本)】 天然素材である漆を用いた「人にも環境にも優しいものづくり」の取組事例を紹介いたします。 落葉漆器や軽くて丈夫な紙胎漆器、高発色性漆など、伝統工芸と科学技術の融合によって生み出された製品を展示します。 
3 京都精華大学 連絡先：学長室グループ（福岡） TEL：075-702-5263 MAIL：crelab@kyoto-seika.ac.jp	【産学連携取組の紹介】 京都精華大学の5学部(芸術学部・デザイン学部・マンガ学部・国際文化学部・メディア表現学部)から生み出された社会連携の成果ならびに、全学で推進している社会実践力育成プログラムの取組事例を紹介いたします。 

2023年10月31日 アート&テクノロジーヴィレッジ京都(ATVK)

～京都府大山崎町(マクセル 京都本社内)にオープンイノベーション拠点としてオープン～

アートとテクノロジーの融合によるオープンイノベーション拠点

多彩なテーマによる連携・協働・交流・実証等により、新たな産業の創造及び次世代を担う人材の育成を図っていきます。

アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都

ATVK

<https://atvk.kyoto>



↑(HPはコチラ)↑

京都の文化力を生かしたアートとテクノロジーとの融合によるイノベーションを創出します



「人間の感性や感動」に基づく、人間味あふれる産業の創造及び起業を促進します



多種多様な人材との交流による、起業の枠を超えた視点を持つ人材を育成します



◆事務局(お問合せ先)

(公財)京都産業21 イノベーション支援部 周藤(ストウ)

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町 134

TEL 075-315-8563

MAIL create@ki21.jp

